

社団法人 日本アマチュア無線連盟

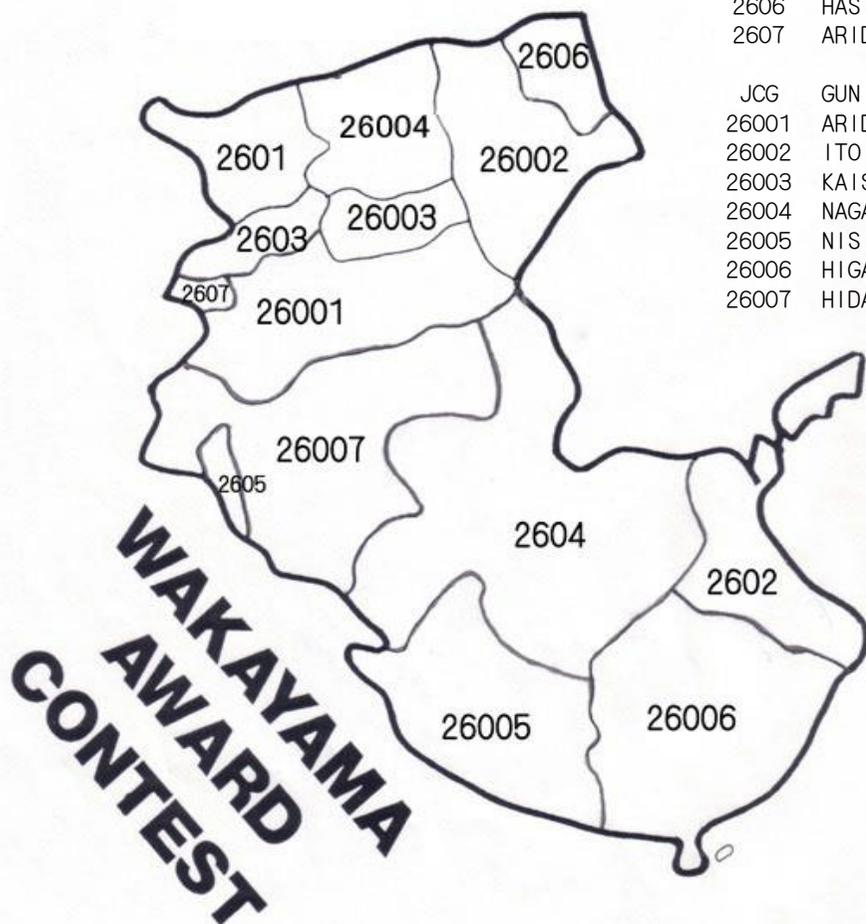


# 和歌山県支部報

2000. 2

JCC	CITY
2601	WAKAYAMA
2602	SHINGU
2603	KAINAN
2604	TANABE
2605	GOBOU
2606	HASIMOTO
2607	ARIDA

JCG	GUN
26001	ARIDA
26002	ITO
26003	KAISOU
26004	NAGA
26005	NISIMURO
26006	HIGASIMURO
26007	HIDAKA



# 支部大会・ハムの集いのご案内

J A R L 和歌山県支部

Y 2 K 問題も大きな問題のなく、20世紀最後の年を向かえましたが、皆様方如何お過ごしでしょうか、世紀末現象か、J A R L も大変な時期に来ています、今回の支部大会は、山本進重郎商店 2 F 会議室を、お借りしての開催になりました、公共の施設ではありませんので、何かとご不便をかけるかも知れませんがご理解のほど、宜しくお願いします

**日 時 平成12年2月13日（日）**

13：00 支部大会

14：00 ハムの集い

**場 所 (株) 山本進重郎商店 2 F 会議室**

和歌山市西浜1660-180 TEL073-447-1231

---

## 平成11年度 J A R L 和歌山県支部大会

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 平成10年度行事報告・同決算報告
- (5) 平成11年度中間報告
- (6) 平成12年度行事計画・同予算説明
- (7) 評議員現状報告
- (8) 監査指導委員長現状報告
- (9) 第11回和歌山コンテスト入賞者紹介
- (10) 和歌山アワード発行状況報告
- (11) 非常通信訓練結果報告
- (12) 南紀熊野体験博特別局について
- (13) 意見交換 その他
- (14) 閉会の辞

## ご挨拶

日本アマチュア無線連盟  
和歌山県支部 支部長  
J A 3 B L 笹井美秋

2000年の新春を迎えて、皆様方にはお仕事やご勉強に、或いは趣味のアマチュア無線にと、幅広くご活躍中の事と存じます。

日頃は、JARL和歌山県支部の活動に対して暖かいご支援とご協力を賜り、心より感謝すると共に厚くお礼申し上げます。

さて、「コンピュータの2000年問題」で騒がれた新しいミレニアムの幕開けを、皆様方は明るい希望を抱いて迎えられたことでしょう。

この問題一つを捕らえても、日本人の危機管理意識が高まったと見るか？ 否、マスコミなどの騒ぎ過ぎだと見るか？

人それぞれの考えがあるでしょうが、今や私たちの生活にコンピュータは深く入り込んで、18世紀末の産業革命のように20世紀末のコンピュータ革命は、もはや後戻りは絶対不可能の状態です、当然のこと、私達の趣味であるアマチュア無線にも深く関わっており、その技術はハードとソフトの両面でも日進月歩し、今日の新しい発明も明日には古くなって終うような凄まじい勢いの変化です。

このように、コンピュータと切り離せない状態になったアマチュア無線に対応して、当初はKDCF（関西デジタル通信フォーラム）が始めたメール転送サービスを、昨年からJARLが引き継ぐことになりました。

一方、JARLの財政状態も逼迫しており、このためQSLカードを隔月転送に踏み切ると共に、更に転送業務の合理化の目的で、2月から送付先が変更されます。また、6月末日を以って各地方事務局の廃止、次回選挙から評議員の定数削減も既に決定していますが、これも偏にJARLの存続を賭けた一連の対応策と御理解を頂き、皆様方の深いご支援とご協力をお願いする次第です。

これからアマチュア無線の世界は、昔の「ラジオ少年」に取って代わって「コンピュータ少年」が引き継いで行くことになるでしょう。

両者の共通点は、何れも好奇心の旺盛な科学少年だということです。

勿論、現役の熟年アマチュア無線家と雖も人一倍好奇心が強くて、まだまだアマチュア無線の世界は健在です。

最後に、皆様方の益々のご健康とご活躍をお祈りします。

## ミレニアムはハムにとっても試練の世紀

評議員 JA3CF 岩崎好宏

新しい世紀の幕開けでいろんなことが議論されています。私たちアマチュア無線もいま大きく変わろうとしています。

過去半世紀に亘り科学技術の進歩とともにアマチュア無線は輝かしい進歩を遂げました。

しかしここに来て大きな変化が起こっています。それは皆さんもご存じのように携帯電話とインターネットの普及で、ハムの免許を取らなくとも簡単に仲間や海外の人と連絡を取れることになったためです。

いままで科学の好きな若者はほとんどといってよいほどハムの免許を取得していました。しかし、最近ではパソコンやインターネットがそれにとって代わっているようで、国家試験の必要なアマチュア無線の世界に入る人が少なくなっています。ではこの両者が一緒なのでしょうか。

私はパソコンとのつきあいが長いので両方の状況がわかるのですが、特定の相手と連絡を取るということではインターネットや携帯電話が便利で実用的です。しかし科学的にいろいろ実験することや広く多くの未知の人とコミュニケーションするのはハムの本質なのですから、これに代わるものはありません。

自作した機器やアンテナで電波を出して実験する、衛星を追尾しながら海外の局と交信する、未知の世界の人と話が弾む、アワードをハンタトするコンテストにがんばる、大海原を航海している船と連絡を取るなど、これらのどれをとってもハムの神髄なのです。他のどの方法でもそれと同じ雰囲気を楽しむことができません。

ハムの高齢化が進んでいます。しかし私たちはこの素晴らしい世界を継承する若者を育てなければなりません。今こそ個人としてハムに没頭するだけでなく、若者にアピールしてこの世界に再び呼び込むことが必要です。それには単なる電話ごっこだけでなく、新しいハムのジャンルとしてデジタル通信や新しい衛星通信など開拓して若者に魅力ある世界を作らなければなりません。

JARLの苦しい財源の中でも、将来を見据えたことへの研究と投資は必要です。私たちは今後どのように進んだらよいか、みんなと一緒に考えましょう。

## ごあいさつ

和歌山県監査指導委員会

委員長 JA3ESL 伊藤嘉計

2000年を迎え今年が20世紀の最後の年になりましたが、皆様方には益々ご活躍のことと思います。

さて、1999年はアマチュア無線界だけでなく、各企業にとっても非常に厳しい年でありましたが、各地で色々なイベントが開催され、和歌山県も南紀熊野体験博で8J3NKXの運用があり、手弁当での参加しかもリレー方式（別名和歌山方式と呼ばれているとか）で大成功を収め、これぞアマチュアの原点か、みんなこよなく無線を愛していたのを感じました。

一方、JARLの存続もあやぶまれ、役員の数変更、また各地方事務局の閉鎖等組織が改正されます。「日本のアマチュア無線界の起源は関西であり又発展していったのも関西である」と、思いつめているのは私だけでしょうか、非常に残念でなりません。

又皆様は色々なジャンルに挑戦してきましたが、今ではインターネット、Eメールが主流になり、アマチュア無線通信ではなく、アマチュア有線通信になろうとしています。次の通信手段はいったいどんな展開をするのか、気になります。

2000年を一つの節目として、本年が皆様にとっても、またJARLにとっても、今世紀最後を飾る実り多い年でありますように・・・

今後とも和歌山県支部発展のため、皆様のご協力をお願いする次第です。

## 平成10年度事業報告

平成10年4月5日 第10回和歌山コンテスト  
 5月24日 役員会・クラブ代表者会議  
 6月28日 技術講習会（2m用アンテナ作成）  
 7月8日 FOXハンティング  
 8月9日 非常通信訓練  
 8月30日 CW・DXミーティング  
 9月20日 1アマ勉強会  
 10月18日 ニューオペレーターズセミナー  
 11月8日 フィールドミーティング(中止)  
 11月29日 役員会・クラブ代表者会議  
 平成11年2月14日 支部大会・ハムの集い  
 3月7日 役員会

## 平成11年度事業報告

平成11年4月4日 第11回和歌山コンテスト  
 5月16日 支部役員会・クラブ代表者会議  
 6月12・13日 関西ハムの祭典（関西6支部）  
 7月20日 上級ハム講習会《大阪》（6支部）  
 8月1日 SSTV/RTTY講習会  
 《大阪》（関西6支部共催）  
 8月8日 第3回和歌山県支部非常通信訓練  
 8月29日 CW・DXミーティング  
 “ハムの英語”《和歌山》（関西6支部）  
 11月21日 ニューオペレーターセミナー  
 《淡輪》（関西6支部）  
 11月28日 支部役員会・クラブ代表者会議  
 12月5日 年末の集い《大阪》（関西6支部）  
 平成12年2月13日 支部大会・ハムの集い  
 2月20日 ハムのための“パソコン”教室  
 《尼崎》（関西6支部）  
 3月5日 支部役員会

## 平成10年度支部費報告

（平成10年4月1日～平成11年3月31日）

収支	科目	金額
前期繰越額		125,102
収 入	支部費	859,000
	賞典収入	6,240
	雑収入	0
	受取利息	251
	合計	865,491
支 出	支部大会費	173,814
	会議費	137,070
	催物費	167,337
	渉外費	0
	通信費	22,160
	交通費	21,640
	消耗品費	0
	支部報発行費	51,240
	事務印刷費	6,387
	コンテスト費	104,740
	賞典費	47,250
	非常通信費	20,760
	雑費	3,965
合計	756,363	
次期繰越高		234,230

## 平成11年度支部費執行額

（平成11年4月1日～平成11年12月31日）

収支	科目	金額
前期繰越額		234,230
収 入	支部費	594,000
	賞典収入	0
	雑収入	0
	受取利息	63
	合計	594,063
支 出	支部大会費	0
	会議費	121,236
	催物費	114,965
	渉外費	2110
	通信費	18,640
	交通費	0
	消耗品費	920
	支部報発行費	0
	事務印刷費	0
	コンテスト費	113,003
	賞典費	0
	非常通信費	0
	雑費	420
合計	371,294	
現在高		456,999

## 平成12年度事業計画（案）

平成12年4月2日	第12回和歌山コンテスト	
5月14日	支部役員会・クラブ代表者会議	
6月10・11日	関西ハムの祭典	(関西6支部共催)
8月6日	第4回和歌山県支部非常通信訓練	
8月27日	CW・DXミーティング	
11月26日	支部役員会・クラブ代表者会議	
平成13年2月11日	支部大会・ハムの集い	
3月4日	支部役員会	

## 平成12年度支部費予算（案）

(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

収支	科 目	金 額	摘 要
収 入	支 部 費	541,000	
	前期繰越額		
	合 計		
支 出	支部大会費	140,000	
	会 議 費	97,000	
	催 物 費	140,000	
	渉 外 費	3,000	
	通 信 費	28,500	
	交 通 費	5,000	
	消 耗 品 費	2,000	
	支部報発行費	56,000	
	事務印刷費	3,000	
	コンテスト費	50,000	
	賞 典 費	3,000	
	非常通信費	10,000	
	雑 費	3,500	
	合 計	541,000	

# 第12回和歌山コンテスト規約

- 主催 J A R L 和歌山県支部
- 日時 2000年4月2日(日) 09:00~21:00 J S T
- 参加資格 日本国内のアマチュア無線局及びSWL
- 部門 N:和歌山県内の部 G:和歌山県外の部 S:SWLの部
- 種目 C:シングルバンド電信個人  
P:シングルバンド電信電話個人  
MHC:マルチバンドHF(1.9~28) 電信個人  
MHP:マルチバンドHF(1.9~28) 電信電話個人  
MVC:マルチバンドV U H F (50~1200) 電信個人  
MVP:マルチバンドV U H F (50~1200) 電信電話個人  
X L B : マルチバンド電信電話社団  
S W L : マルチバンド電信電話S W L
- 参加部門記号例  
県内1.9MHz電信⇒N1.9C 県外HFマルチ電信電話⇒GMHP  
県外社団⇒GXLB 県内外共通SWL⇒SWL
- 使用バンド 1.9 3.5 7 14 21 28 50 144 430 1200Mhz
- 周波数区分 JARLバンドプランによる
- 呼び出し方法 和歌山県内局 (電話) CQ和歌山コンテストこちらは県内局 J\*3\*\*\* / 3  
(電信) CQ WK TEST IN DE J\*3\*\*\* / 3  
和歌山県外局 (電話) CQ和歌山コンテストこちらは J\*7\*\*\* / 7  
(電信) CQ WK TEST DE J\*7\*\*\* / 7
- 交信相手局 和歌山県内局 国内全域  
和歌山県外局 和歌山県内局のみ
- コンテストナンバー 和歌山県内局 RS(T)+市・郡ナンバー  
和歌山県外局 RS(T)+都府県支庁ナンバー
- 得点 1交信を1点とする、SWLは和歌山県内のみを1点とする。  
但し同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない。
- マルチブライヤー 県内局 各バンド毎に都府県支庁(和歌山県を除く)及び  
和歌山県内の市郡を1マルチとする  
県外局 各バンド毎に和歌山県内の市郡を1マルチとする
- スコア 得点合計×マルチ合計
- 提出書類 J A R L コンテストログ及びサマリーシート又は、それと同一とみなし得る様式とする
- 書類提出期限 2000年4月30日 当日消印有効
- 書類提出先・問合せ 〒640-8435 和歌山市古屋68-27  
JR3QVU 大野木 喬 J A R L 和歌山県支部コンテスト係
- 賞状 各部門、種目別にエントリー数が5局以内は1位のみ  
10局未満は2位まで、それ以上は3位まで賞状を発行する。

## 禁止事項等その他

- \* J A R L コンテスト規約に準じる、 \* エントリーは1局1種目とする
- \* 和歌山県内局はマルチバンドで運用しシングルバンドにエントリー出来ず。
- \* 和歌山県内 J A R L 登録クラブ構成メンバーはサマリーシートに登録Noとクラブ名を記入下さい、集計不要
- \* 移動はコンテストナンバーが変わらない範囲で認める、
- \* 返信用¥90切手同封の方にはコンテスト結果をお送りします。
- \* 副賞「和歌山特産品」はエントリー数得点等により上位より10個+特別賞1個  
県内11 県外11 合計22個とする。

# 第11回和歌山コンテスト結果

## 県内 個人 電信の部

### 1. 9Mhz

\*1 JR3E01/3 2176  
2 JA5NSN/3 1377  
3 JH3EZV 225

### 3. 5Mhz

\*1 JA3BYR 3348

### 7Mhz

\*1 JM1TUY/3 23265  
2 JN3ANO/3 10320

### 14Mhz

\*1 JR3EQG 2553

### 21Mhz

\*1 JG2JCA/3 425

### 144Mhz

\*1 JE3ORT/3 91  
2 JM3QML 4

### 1200Mhz

\*1 JF3VHS 8

### HFマルチ

\*1 JK3HLP/3 80791

## 県内 社団の部

\*1 JR3YSG/3 45135

## 県内 個人 電信・電話の部

### 3. 5Mhz

\*1 JI3CEY/3 3780

### 7Mhz

\*1 JO3MKL/3 24600  
\*2 JN3KXI 17304  
3 JG3NVL 9844  
4 JI3VYC 8925  
5 JF3QUE 7498  
6 JK3UWI/3 4255  
7 JA3CFH 3710  
8 JA3BPX 208

### 21Mhz

\*1 JF3PBB/3 464  
2 JM3DDW/3 420

### 28Mhz

\*1 JI3WBB/3 182  
2 JM3JJW 1

### 50Mhz

\*1 JA3DFO/3 495  
2 JE3QZV 406  
3 JL3VVA 96  
4 JF3OZF/3 42

### 144Mhz

\*1 JK3ISC/3 1680  
2 JS3FRA 232

## 430Mhz

\*1 JH3JAS/3 432

## 1200Mhz

\*1 JF3HLS/3 240  
2 JP3FJE/3 60  
3 JN3QCI 6

## HFマルチ

\*1 JH3QED 25333  
2 JS3GRE 7198  
3 JM3UOS 63  
4 JA3BL 20  
5 JA3WRV 1

## VUマルチ

\*1 JL3XBC/3 3488  
\*2 JF3NIM/3 1100  
3 JL3PYH/3 828  
4 JL3WUY/3 651  
5 JA3AGQ 255  
6 JR3QVU/3 56  
7 JM3HHD 12  
8 JN3DNJ 12  
9 JR3KUF 4

## 県内 登録クラブの部

\*1 潮岬ハムクラブ 45135  
2 和歌山2mSSB愛好会 31339  
3 紀州弁慶 3710  
4 和歌山民間救援隊 60  
5 有田クラブ 12

## WAKAYAMA AWARD 規定

下記の様に和歌山県内の市町村から各1枚のQSLカードを取得する。

- 1) Excellent 賞：50市町村
- 2) A 賞：7市
- 3) B 賞：7郡
- 4) C 賞：36町
- 5) D 賞：7村

特記：シングルバンド シングルモードのみ特記する。

申請方法：JARL制定のAward申請書及びカードリストを使用し、  
JARL会員2名のGCRを受け、手数料をそえて申請する。  
なお、カードを直接送付しないこと。

手数料：郵便小為替にて、1賞のみは500円、複数賞を同時に申請する場合は  
初の1賞が500円、その他は1賞増す毎に300円ずつ加算する。

その他：市町村名の変更や増減が行われた場合は、それらの施行日をもって  
本規定も改定されるものとする。

申請先：〒641-8799 和歌山南郵便局私書箱1号  
JARL和歌山県支部Award係

問合せ先：同上（SASEに限る）

発行者：JARL和歌山県支部

### 和歌山県市町村リスト（順不同）

#### 【市】

和歌山市 橋本市 海南市 田辺市 新宮市 御坊市 有田市

#### 【町】

有田郡： 広川町 湯浅町 金屋町 吉備町 清水町  
伊都郡： 九度山町 高野口町 かつらぎ町 高野町  
海草郡： 下津町 野上町 美里町  
那賀郡： 岩出町 貴志川町 粉河町 那賀町 打田町 桃山町  
西牟婁郡： 上富田町 串本町 白浜町 すさみ町 中辺路町 日置川町  
東牟婁郡： 熊野川町 那智勝浦町 古座川町 太地町 古座町 本宮町  
日高郡： 南部町 日高町 美浜町 由良町 印南町 川辺町

#### 【村】

伊都郡： 花園村  
西牟婁郡： 大塔村  
東牟婁郡： 北山村  
日高郡： 中津村 南部川村 美山村 竜神村

平成11年1月1日～12月31日

EXCELLENT	No 35	J K 3 F F J	No 36	J A 9 W K K (7-SSB)
	No 37	J R 3 R V Q (7-SSB)	No 38	J H 4 D G N
	No 39	J I 3 W B B (7-SSB)	No 40	J A 3 T L L (7-SSB)
A	No 135	J F 3 F M Q (144-SSB)	No 136	J S 3 F P T (7-SSB)
	No 137	J A 2 F O Z (7-SSB)	No 138	J R 1 J B O (7-SSB)
	No 139	J M 3 S N J (7-SSB)	No 140	J F 5 C X K (7-SSB)
	No 141	J J 7 J D U (7-SSB)	No 142	J I 5 E S N (7-SSB)
	No 143	J J 3 V P T (144-SSB)	No 144	T L 2 Q X J (7-SSB)
	No 145	J L 7 D C K	No 146	J I 3 W B B (7-SSB)
	No 147	J A 3 T L L (7-SSB)		
B	No 94	J M 4 O S I (7-SSB)	No 95	J P 3 F M Q (144-SSB)
	No 96	J R 1 J B U	No 97	J M 3 S N J (7-SSB)
	No 98	J F 5 C X K (7-SSB)	No 99	J J 7 J D U (7-SSB)
	No 100	J H 1 N X U	No 101	J L 7 D C K
	No 102	J I 3 W B B (7-SSB)	No 103	J A 3 T L L (7-SSB)
C	No 4	J I 3 W B B (7-SSB)	No 5	J A 3 T L L (7-SSB)
D	No 6	J I 3 W B B (7-SSB)	No 7	J A 3 T L L (7-SSB)

## 県支部登録クラブ

登録番号	クラブ名	代表者氏名	コールサイン
26-1-01	はまゆうアマチュア無線クラブ	古久保恭一	J A 3 C H T
26-1-02	有田アマチュア無線クラブ	岩崎好宏	J A 3 C F
26-1-03	和歌山虎伏アマチュア無線クラブ	伊藤嘉計	J A 3 E S L
26-1-06	紀州弁慶アマチュア無線クラブ	岩本雅雄	J R 3 V M V
26-1-08	橋本市アマチュア無線クラブ	西川恵章	J R 3 A I P
26-1-11	クラブ高野口	松下意彦	J R 3 G W M
26-1-12	ハム高野山クラブ	中尾 勲	J R 3 T P S
26-1-14	かつらぎアマチュア無線クラブ	林 耕三	J G 3 B D O
26-1-16	J A R L ハムクラブ 新宮	中尾亨義	J Q 3 L Q S
26-1-17	潮岬ハムクラブ	南部 清	J E 3 A I U
26-1-18	紀州路田辺ハムクラブ	鈴木博雄	J A 3 R P Y
26-2-02	桐蔭高校アマチュア無線クラブ	濱出省三	J A 3 E J S
26-4-01	和歌山葵クラブ	廣井五十二	J A 3 E Q C
26-4-03	オールデイ紀の國	前谷昌男	J F 3 I V R
26-4-04	紀南ハムクラブ	立花 昇	J R 3 X K N
26-4-06	和歌山クラブ	村井 亘	J A 3 B X
26-4-09	和歌山ユニオンクラブ	富永 賢	J J 3 M G L
26-4-19	和歌山楽遊倶楽部	北原芳晃	J O 3 T I O
26-4-21	A R D F わかやまクラブ	臼井貞行	J R 3 R X M
26-4-22	和歌山 2mSSB 愛好会	田中将夫	J F 3 N I M
26-4-23	和歌山民間救援隊ハムクラブ	池上和彦	J R 3 K U F
26-4-24	J A S C 和歌山	鍛治幸雄	J H 3 M R B
26-4-25	アマチュア無線南海クラブ	浅井章寛	J A 3 B F S

# J A R L 和歌山県支部役員名簿

平成12年2月13日現在

役名	コールサイン	氏名	郵便番号	住所
支部長 (総括)	J A 3 B L	笹井 美秋	〒641-0012	和歌山市紀三井寺678 TEL 073-444-3896
副支部長 (教育・技術指導)	J A 3 E Q C	廣井五十二	〒641-0036	和歌山市西浜1009-8 TEL 073-445-2889
会計幹事 (企画・渉外)	J R 3 R X M	臼井 貞行	〒640-8306	和歌山市出島121 TEL 073-471-2390
総務幹事 (海南・広報)	J F 3 N I M	田中 将夫	〒642-0001	海南市船尾237 TEL 073-482-3202
常任幹事 (和歌山・ARDF)	J H 3 E Z V	勝本 健	〒640-8482	和歌山市六十谷1353-14 TEL 073-461-3232
常任幹事 (和歌山・コンテスト)	J A 3 W R V	梅本 教正	〒641-0045	和歌山市堀止西2-2-14 TEL 073-436-2834
常任幹事 (和歌山・非常通信)	J R 3 K U F	池上 和彦	〒641-0062	和歌山市雑賀崎6-48 TEL 073-448-2356
常任幹事 (和歌山・コンテスト)	J R 3 Q V U	大野木 喬	〒640-8435	和歌山市古屋68-27 TEL 073-451-5828
常任幹事 (海草・コンテスト)	J F 3 I V R	前谷 昌男	〒640-1103	海草郡野上町吉野164 TEL 073-489-2079
常任幹事 (伊都・渉外)	J H 3 G A H	後藤 太栄	〒648-0211	伊都郡高野町高野山154 TEL 0736-56-2411
常任幹事 (橋本・伊都・会報)	J R 3 G W M	松下 意彦	〒649-7205	伊都郡高野口町名倉1091 TEL 0736-42-5128
常任幹事 (那賀)	J A 3 M W N	松村 邦宏	〒649-6258	那賀郡岩出町山64-7 TEL 0736-69-2162
常任幹事 (有田・アワード)	J R 3 E Q G	辻村 光司	〒649-0301	有田市下中島48-3 TEL 0737-88-5332
常任幹事 (御坊・日高)	J A 3 C H T	古久保恭一	〒644-0002	御坊市藪377-3 TEL 0738-22-6955
常任幹事 (田辺)	J A 3 A G K	濱田 幸雄	〒649-2105	西牟婁郡上富田町朝来1029 TEL 0739-47-0469
常任幹事 (西牟婁郡・非常通信)	J E 3 A I U	南部 清	〒649-3502	西牟婁郡串本町潮岬3548-31 TEL 0735-62-0481
常任幹事 (新宮・東牟婁)	J A 3 B P X	岡崎 悌	〒647-0071	新宮市佐野1730-13 TEL 0735-31-6221
評議員	J A 3 C F	岩崎 好宏	〒643-0071	有田郡広川町1229 TEL 0737-65-2206
監査指導 委員長	J A 3 E S L	伊藤 嘉計	〒640-8404	和歌山市湊3155 TEL 073-424-3410

J A R L 和歌山県支部に対するご意見・御要望はお近くの上記役員までお寄せ下さい。